

令和6年度 全国教職員研修会

「人間関係とコミュニケーション」の 学習のポイント

龍谷大学短期大学部社会福祉学科
伊藤 優子

I. 「人間関係とコミュニケーション」の学習のポイント

1. 介護福祉士養成教育課程における「人間と社会の理解」の目的

1. 福祉の理念を理解し、尊厳の保持や権利擁護の視点及び専門職としての基盤となる倫理観を養う。
2. 人間関係の形成やチームで働く力を養うための、コミュニケーションやチームマネジメントの基礎的な知識を身につける。
3. 対象者の生活を地域の中で支えていく観点から、地域社会における生活とその支援についての基礎的な知識を身につける。
4. 介護実践に必要な知識という観点から、社会保障の制度、施策についての基礎的な知識を身につける。
5. 介護実践を支える教養を高め、総合的な判断力及び豊かな人間性を養う。

2. 「人間関係とコミュニケーション」のねらい

1. 対人援助に必要な人間の関係性を理解し、関係形成に必要なコミュニケーションの基礎的な知識を習得する学習とする。
2. 介護の質を高めるために必要な、チームマネジメントの基礎的知識を理解し、チームで働くための能力を養う学習とする。

3. 「介護福祉基礎」の教育に含むべき事項と留意点

教育に含むべき事項	留意点
①人間関係の形成と コミュニケーションの基礎	人間関係を形成するために必要な心理学的支援を踏まえたコミュニケーションの意義や機能を理解する内容とする。
②チームマネジメント	介護実践をマネジメントするために必要な組織の運営管理、人材の育成や活用などの人材管理、それらに必要なリーダーシップ・フォロワーシップなど、チーム運営の基本を理解する内容とする。

4. 「コミュニケーション技術」のねらい

1. 対人援助に必要な人間の関係性を理解し、関係形成に必要なコミュニケーションの基礎的な知識を習得する学習とする。
2. 介護の質を高めるために必要な、チームマネジメントの基礎的知識を理解し、チームで働くための能力を養う学習とする。

5. 「コミュニケーション技術」の教育に含むべき事項と留意点

教育に含むべき事項	留意点
①人間関係の形成と コミュニケーションの基礎	人間関係を形成するために必要な心理学的支援を踏まえたコミュニケーションの意義や機能を理解する内容とする。
②チームマネジメント	介護実践をマネジメントするために必要な組織の運営管理、人材の育成や活用などの人材管理、それらに必要なリーダーシップ・フォロワーシップなど、チーム運営の基本を理解する内容とする。

6. 「人間関係とコミュニケーション」の出題基準

大項目	中項目	小項目
Ⅰ 人間関係の形成とコミュニケーションの基礎	1) 人間関係と心理	<ul style="list-style-type: none">●自己覚知、他者理解、自己開示、ラポール●グループダイナミクス
	2) 対人関係とコミュニケーション	<ul style="list-style-type: none">●コミュニケーションの意義と目的●コミュニケーションの特徴と過程●コミュニケーションを促す環境●対人関係とストレス
	3) コミュニケーション技法の基礎	<ul style="list-style-type: none">●言語的コミュニケーション●非言語的コミュニケーション●物理的距離、心理的距離(パーソナルスペース)●受容、共感、傾聴●相談面接の基礎

6. 「人間関係とコミュニケーション」の出題基準

大項目	中項目	小項目
1 チームマネジメント	1) 介護サービスの特性	<ul style="list-style-type: none">●ニューマンサービスの特性●介護実践とケアマネジメント
	2) 組織と運営管理	<ul style="list-style-type: none">●組織の構造と管理●福祉サービス提供組織の機能と役割●コンプライアンスの遵守
	3) チーム運営の基本	<ul style="list-style-type: none">●チームの機能と構成●リーダーシップ、フォロワーシップ●リーダーの機能と役割●業務課題の発見と解決の過程（PDCAサイクルなど）
	4) 人材の育成と管理	<ul style="list-style-type: none">●OJT、Off-JT、SDS●ティーチング、コーチング●スーパービジョン、コンサルテーション

Ⅱ. 当該科目の教育上の課題

1. 学生の多様化

		令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
養成施設数(課程)		347	327	314	296	279
入学者数		7,048	7,183	6,802	6,197	6,546
(内訳)	新卒者数	3,941	4,288	4,296	3,930	3,084
	離職者訓練	712	706	626	465	408
	留学生	2,395	2,189	1,880	1,802	3,054
出身国数		20	28	22	25	20
入学者に占める留学生割合		34.1	30.5	27.6	29.1	46.7



令和6年では、ネパール(1,311人)、ミャンマー(533人)、ベトナム(431人)、中国(223人)、インドネシア(205人)、スリランカ(115人)、フィリピン(95人)、バングラディシュ(63人)が、50名を超えている。

(出典) 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会「介護福祉士養成施設への入学者数と外国人留学生」
<https://kaiyokyo.net/news/fad13654a8523e2746f7b3c8eb6d65d485bae569.pdf> (2024. 10. 09閲覧)

多様化への対応

学生の多様化

- *留学生や社会人学生
- *障害のある学生
- *学生の生活経験 など

介護現場の多様化

- *対象者の多様化
- *多様な介護人材
- *多様な働き方 など

「それぞれの生活経験や価値観の多様化」

複雑化・多様化・高度化する利用者のニーズに、多様な介護人材がチームで協働すること、それをマネジメントする能力を養うことが求められている。



当該科目は、**根拠をもってその能力を習得させる**重要な科目

Ⅲ. 教育上の課題への対応のための参考資料

◆令和5年度 介護労働実態調査

○『事業所における介護労働実態調査結果報告書』（介護労働安定センター）

https://www.kaigo-center.or.jp/content/files/report/2023_jittai_chousa_jigyousya_honpen.pdf

○『介護労働者の就業実態と就業意識調査結果報告書』（介護労働安定センター）

https://www.kaigo-center.or.jp/content/files/report/2023_jittai_chousa_roudousya_honpen.pdf

◆令和4年度老健事業

○『介護福祉士国家資格取得に向けた留学生指導についてのガイドライン改訂版』（介養協）

https://kaiyokyo.net/pdf/r4_guidelines.pdf

◆令和4年度老健事業

○『介護福祉士国家資格取得に向けた留学生指導についてのガイドライン別冊

介護福祉士国家資格取得に向けた留学生指導についての指導のポイント』（介養協）

https://kaiyokyo.net/pdf/r3_ryuugakusei_point_02.pdf

◆令和2年度社会福祉推進事業

○『介護福祉士養成課程の教員の教育力向上に向けた研修 研修概要及び科目別資料集』（介養協）

https://kaiyokyo.net/pdf/r2_shiryou_kyoin_kyouikuryoku_01.pdf (1/2)

https://kaiyokyo.net/pdf/r2_shiryou_kyoin_kyouikuryoku_02.pdf (2/2)

